

(1) 委託業務の実施状況及び施設等の利用状況

・利用許可

「とっとりバイオフィロンティアの設置及び管理に関する条例」、「とっとりバイオフィロンティア施設設備及び機器の開放及び管理に関する規則」に基づき、利用許可を行った。

1か月以上の実験室、居室、動物飼育室及びオープンラボの利用許可にあたっては、条例、規則及び「とっとりバイオフィロンティア入居審査要領」に基づき、入居者選定審査会において審査し、バイオフィロンティアの設置目的をより効果的に達成できると認められる者等に対し利用許可を行った。

審査委員：鳥取県商工労働部産業未来創造課長
 地方独立行政法人鳥取県産業技術センター食品開発研究所職員
 公益財団法人鳥取県産業振興機構バイオフィロンティア推進室長

入居者

オープンラボ		染色体工学共同研究拠点 鳥取大学染色体工学研究センター	平成23年5月1日～
居室	301	公益財団法人鳥取バイオサイエンス振興会	平成23年5月12日～
	302	株式会社 Trans Chromosomics	平成27年4月1日～
	303	株式会社ジーピーシー研究所	平成26年4月1日～
	304	株式会社エボルブ・バイオセラピューティクス	令和2年10月1日～
実験室	311	株式会社 Trans Chromosomics	平成27年4月1日～
	312	株式会社エボルブ・バイオセラピューティクス	令和2年10月1日～
	313	株式会社 Trans Chromosomics	平成30年8月15日～
	314	株式会社ジーピーシー研究所	平成24年4月2日～
動物飼育室	321	株式会社 Trans Chromosomics	平成28年5月1日～
	322	株式会社 Trans Chromosomics	平成28年4月16日～
	323	株式会社 Trans Chromosomics	令和2年7月1日～
	324	株式会社ジーピーシー研究所	平成25年6月3日～

○施設・開放機器等の利用状況

・施設利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実験室	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	48
居室	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	48
動物飼育室	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
オープンラボ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
研修室（推進室利用分も含む）	23	18	13	21	24	27	23	21	13	11	28	31	253

・開放機器利用状況（件数）

開放機器	1,945	2,093	2,115	2,153	2,263	2,220	2,387	2,380	2,388	2,292	2,181	2,486	26,903
傾斜型バイオクリーンベンチ	110	117	131	97	142	131	163	179	112	116	100	169	1,567
安全キャビネット	41	56	52	64	27	41	50	73	58	46	54	52	614
オートクレーブ	26	21	19	18	25	19	15	24	15	18	14	18	232
倒立型蛍光顕微鏡	18	17	8	2	17	6	11	30	11	4	6	5	135
実体顕微鏡	0	1	0	4	2	2	8	0	0	1	3	5	26
オールインワン顕微鏡	15	33	21	50	31	62	32	43	22	21	25	41	396
インキュベーター顕微鏡	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
セルアナライザ	15	16	15	17	16	23	24	34	27	15	13	14	229
発光ライブセルイメージングシステム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
培養細胞リアルタイム発光計測装置	26	21	6	22	14	26	27	25	26	12	12	27	244
大型遠心分離機	4	22	4	1	27	15	15	17	4	8	4	2	123
超遠心分離機	0	2	0	1	5	3	0	1	2	1	2	1	18
小型冷却遠心機	7	2	0	2	13	2	16	7	6	8	13	5	81
化学発光・蛍光検出機	2	13	14	12	8	0	2	4	8	8	3	8	82
ゲル撮影装置	0	0	11	2	1	4	4	3	1	0	8	1	35
微量サンプル計測設備	11	6	6	0	0	0	5	4	4	6	5	5	52
分光光度計	0	0	1	0	2	2	9	1	3	0	0	0	18
冷却大型振とう培養器	0	0	0	0	1	0	2	1	0	6	23	15	48
冷却小型振とう培養器	5	3	0	1	5	5	3	0	5	4	5	3	39
大腸菌培養用インキュベーター	0	0	0	0	3	2	0	1	0	0	0	0	6
多検体サンプル粉砕器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ホモジナイザー	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
細胞粉砕装置	0	0	0	2	1	2	5	1	3	0	0	2	16
プレートリーダー-EnSight	2	4	1	0	12	3	8	1	1	7	1	14	54
リアルタイムPCR	10	20	44	33	25	12	24	16	3	0	6	10	203
PCRマシン	3	5	19	4	6	3	4	3	3	0	1	2	53
遺伝子抽出装置	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
遺伝子導入装置	0	0	1	0	0	0	3	1	0	2	0	0	7
共焦点顕微鏡	24	37	26	37	30	37	43	41	46	12	25	22	380
共焦点顕微鏡(解析専用)	1	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	5
染色体解析専用顕微鏡	34	25	36	55	44	25	27	26	39	24	36	26	397
染色体解析専用顕微鏡(解析専用)	22	9	27	31	39	24	24	27	32	48	35	24	342
ドラフトチャンバー	4	8	8	0	11	20	10	8	0	7	1	4	81
動物組織固定装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小型動物麻酔器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
密閉式自動固定包埋装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パラフィン包埋ブロック作製装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイクローム	2	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	7
パラフィン溶融器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パラフィン伸展器	2	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	5
感染防止対策用クリオスタット	4	5	4	4	10	19	19	19	12	6	10	14	126
マイクロダイセクション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液生化学分析機	0	0	0	2	3	8	1	1	4	3	2	1	25
バイオサンプル粉砕装置	0	0	2	0	1	0	1	0	3	0	1	0	8
生物顕微鏡(ティーチングヘッド付き)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
全自動万能型回転マイクローム(樹脂包埋機本対応)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実験用器具自動洗浄機	2	7	7	3	2	9	7	6	2	2	1	1	49
乾熱滅菌乾燥機	1	0	0	1	3	2	6	10	4	4	4	6	41
高感度冷却CCDカメラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CO2インキュベーター	109	124	120	124	124	132	124	120	155	145	140	155	1,572
CO2インキュベーター(一時利用専用)	0	6	3	0	0	0	0	0	9	0	2	5	25
細胞保存用液体窒素タンク	120	124	120	124	124	120	124	120	155	155	140	155	1,581
薬用冷蔵ショーケース	450	477	480	496	496	490	527	510	559	579	532	589	6,185
超低温フリーザー	360	378	390	403	403	399	444	450	465	465	420	465	5,042
薬用保冷庫	300	310	300	323	372	360	372	360	372	403	364	403	4,239
薬品冷蔵庫	210	217	210	217	217	210	217	210	217	155	140	155	2,375
プログラムフリーザー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スーパーエレクトロポレーター	4	7	11	0	0	1	1	2	0	0	0	0	26
蛍光実体顕微鏡	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
バイオメディカルフリーザー	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	30	62	108

※推進室の利用分（無料分）の回数を含む集計

・開放機器利用状況（時間）

開放機器(利用時間)<有料のみ>	2,495	2,590	2,284	2,593	2,656	2,781	2,890	2,836	2,861	2,371	2,377	2,952	31,686
傾斜型バイオクリーンベンチ	160	190	179	130	211	173	208	259	170	161	133	220	2,194
安全キャビネット	81	96	96	96	33	79	76	101	86	65	89	88	986
オートクレーブ	61	23	48	10	40	23	10	34	13	22	33	34	351
倒立型蛍光顕微鏡	19	28	10	2	33	7	13	31	11	6	6	5	171
実体顕微鏡	0	2	0	48	7	5	26	0	0	4	10	12	114
オールインワン顕微鏡	16	42	30	76	50	76	52	73	37	27	34	64	577
インキュベーター顕微鏡	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
セルアナライザ	28	30	25	26	28	30	30	46	31	20	20	19	333
発光ライブセルイメージングシステム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
培養細胞リアルタイム発光計測装置	543	416	120	450	288	536	552	503	520	242	241	525	4,936
大型遠心分離機	8	37	4	1	38	18	24	43	4	18	10	14	219
超遠心分離機	0	2	0	1	20	7	0	1	2	4	9	8	54
小型冷却遠心機	10	2	0	1	11	6	17	10	6	8	11	5	87
化学発光・蛍光検出機	2	14	14	13	8	0	2	4	9	8	4	8	86
ゲル撮影装置	0	0	12	2	1	3	4	2	0	0	8	1	33
微量サンプル計測設備	11	6	6	0	0	0	5	4	4	6	5	5	52
分光光度計	0	0	1	0	2	4	7	1	2	0	0	0	17
冷却大型振とう培養器	0	0	0	0	1	0	2	1	0	6	23	15	48
冷却小型振とう培養器	5	3	0	0	3	5	3	0	5	4	5	3	36
大腸菌培養用インキュベーター	0	0	0	0	3	2	0	1	0	0	0	0	6
多検体サンプル粉碎器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ホモジナイザー	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
細胞粉碎装置	0	0	0	2	1	2	5	1	3	0	0	2	16
プレートリーダー-EnSight	2	18	1	0	48	4	11	1	1	8	1	45	140
リアルタイムPCR	30	58	125	91	63	33	66	35	11	0	26	36	574
PCRマシン	5	8	43	7	72	3	5	2	1	0	1	2	149
遺伝子抽出装置	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
遺伝子導入装置	0	0	1	0	0	0	3	1	0	2	0	0	7
共焦点顕微鏡	52	80	54	98	84	89	116	94	134	32	81	57	971
共焦点顕微鏡(解析専用)	4	0	0	0	0	0	3	1	0	3	0	0	11
染色体解析専用顕微鏡	107	90	102	149	130	83	80	86	136	68	112	74	1,217
染色体解析専用顕微鏡(解析専用)	61	28	47	68	107	49	67	60	98	110	66	59	820
ドラフトチャンバー	65	115	36	0	34	63	36	14	0	19	3	10	395
動物組織固定装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小型動物麻酔器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
密閉式自動固定包埋装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パラフィン包埋ブロック作製装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミクロトーム	5	0	6	0	0	0	9	0	0	0	0	0	20
パラフィン溶融器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パラフィン伸展器	5	0	6	0	0	0	3	0	0	0	0	0	14
感染防止対策用クリオスタット	11	17	12	12	28	50	62	57	38	20	32	38	377
マイクロダイセクション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液生化学分析機	0	0	0	2	3	9	1	1	4	3	2	1	26
バイオサンプル粉碎装置	0	0	2	0	1	0	1	0	3	0	1	0	8
生物顕微鏡(ティーチングヘッド付き)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
全自動万能型回転ミクロトーム(樹脂包埋機本対応)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実験用器具自動洗浄機	2	7	10	3	2	124	7	7	2	2	1	1	168
乾熱滅菌乾燥機	0	0	0	1	3	2	6	10	4	4	4	6	40
高感度冷却CCDカメラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CO2インキュベーター	109	124	120	124	124	132	124	120	155	145	140	155	1,572
CO2インキュベーター(一時利用専用)	0	13	6	0	0	0	0	0	37	0	4	14	74
細胞保存用液体窒素タンク	120	124	120	124	124	120	124	120	155	155	140	155	1,581
薬用冷蔵ショーケース	330	353	360	372	372	370	403	390	435	455	420	465	4,725
超低温フリーザー	330	347	360	372	372	369	413	420	434	434	392	434	4,677
薬用保冷库	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	140	155	1,825
薬品冷蔵庫	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	140	155	1,825
プログラムフリーザー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スーパーエレクトロポレーター	7	7	12	0	0	1	2	2	0	0	0	0	31
蛍光実体顕微鏡	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
バイオメディカルフリーザー	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	30	62	108

※利用時間については利用料金に反映するため、推進室が利用した時間（無料分）は除き、有料部分のみを集計

○各種委員会・部会及び連絡会の実施

月	各種委員会・部会・ ミーティング	産学官関係	その他行事等
4	TBF 推進室会議 (4/5) 県産業未来創造課打合せ (4/7) 米子東高等学校支援協議 (4/23) TBF 推進室会議 (4/28)		遺伝子組換え実験/動物実験 教育訓練 (4/6 ; 1名、4/7 ; 4名) 遺伝子組換え実験 教育訓練 (4/7 ; 2名、4/9 ; 2名) 人材育成セミナー (4/30)
5	機構 10周年事業打合せ (5/19) 県 10周年事業打合せ (5/19) 研究総監 10周年事業打合せ (5/19)		TBF 新規利用者講習会 (5/18) 人材育成セミナー (5/20、5/31) 職場巡視 (5/28)
6	化学物質管理委員会 (6/3) TBF 推進室会議 (6/7) 県 10周年事業打合せ (6/10) 研究総監 10周年事業打合せ (6/23)		安全衛生教育セミナー (6/3) 人材育成セミナー (6/17、6/28)
7	TBF 推進室会議 (7/8) 米子商工会議所 10周年事業打合せ (7/20) 10周年事業実行委員会 (7/28) 県 10周年事業打合せ (7/30)	鳥大ベーシッ クリサーチフ ォーラム参加 (TBF の PR)	リスクアセスメント研修会 (7/1) 人材育成セミナー (7/8) 入居企業ヒアリング (7/14、7/15)
8	TBF 推進室会議 (8/4) 米子高専 10周年事業打合せ (8/18) 米子東高校 10周年事業打合せ (8/18) 米子商工会議所 10周年事業打合せ (8/23) 京大 10周年事業打合せ (8/31) 医学部長 10周年事業打合せ (8/1)		動物実験 教育訓練 (8/10 ; 6名) 科学ワークショップ (8/11) 人材育成セミナー (8/25、8/26)
9	TBF 推進室会議 (9/2) 10周年事業運営部会 (9/3、9/14) 医学部長 10周年事業打合せ (9/21) 米子高専 10周年事業打合せ (9/29)		とっとり県民の日フェア パネル展示 (9/11-12) 人材育成セミナー (9/8、9/25-26) 職場巡視 (9/27)
10	R3 年度事業化支援部会 (10/4) TBF 推進室会議 (10/6) 化学物質委員会 (10/7)		Bio Japan 2021 出展 (10/13-15) 遺伝子組換え実験/動物実験 教育訓練 (10/14 ; 1名)

	米子商工会議所 10 周年事業打合せ (10/8) 研究総監 米子商工会議所会頭 10 周年事業打合せ (10/12) 医学部長 10 周年事業打合せ (10/13) 湯梨浜学園高校支援協議 (10/15)		とっとりバイオフィロンティア開設 10 周年記念式典・シンポジウム (10/24)
11	R3 年度管理事務部会 (11/4) TBF 推進室会議 (11/8)		人材育成セミナー (11/24)
12	TBF 推進室会議 (12/6) R4 年度入居審査会 (12/13)	県内企業と入居企業との共同研究協議	遺伝子組換え実験/動物実験 教育訓練 (12/9 ; 1 名) 湯梨浜学園生物工学実習 (12/8)
1	TBF 推進室会議 (1/7)		職場巡視 (1/24)
2	化学物質管理委員会 (2/3) TBF 推進室会議 (2/8) 事業運営委員会 (2/14) 鳥大先進医療センター定期打合せ (2/22)		遺伝子組換え実験/動物実験 教育訓練 (2/8 ; 1 名) 人材育成セミナー (2/24)
3	TBF 推進室会議 (3/8) 鳥大先進医療センター定期打合せ (3/28)		人材育成セミナー (3/2、3/9、3/16) 第 2 回ファーマラボ EXPO 大阪出展 (3/9-11)

○施設管理の状況

a 開館時間・休館日の状況

休館日は、土曜日及び日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日から1月3日まで）とし、開館時間は、休館日を除く日の9時から17時までとした。

b 個人情報の管理体制

公益財団法人鳥取県産業振興機構個人情報取扱規程（平成24年4月施行）により、個人情報が適切に保護されるよう配慮するとともに、業務上知り得た情報の漏えい及び目的外使用が生じないよう厳正な管理を行った。

c 情報公開

施設の管理運営に係る情報公開は、公益財団法人鳥取県産業振興機構情報公開規程（平成24年4月施行）により、適切に処理した。

d 保険への加入、点検・保守、警備、清掃等業務について

施設内での事故や火災に備え保険へ加入した。

性質上職員が処理することが困難であり専門性が高い特殊技術を必要とする点検・保守業務、また施設の安全・衛生を保つ警備や清掃業務等、利用者へ業務の質を高め経費の効率化及び利用者へのサービスの向上が期待できる業務については、外部委託により実施した。

以下の賠償保険、機器火災保険等に加入した。

(単位：円)

保険種類	選定方法	予算額	決算額	随契理由	備考
賠償責任保険	随意契約	35,000	31,670	契約金額が20万円未満のため(1者見積)	事業活動全般の施設・業務遂行におけるリスクが発生した場合の対人・対物が補償されるもの
火災保険	随意契約	475,000	472,000	契約金額が50万円未満のため(2者見積)	JST 機器に係る通常の火災保険等、その他不測かつ突発的な事故等が補償されるもの
障害総合保険	随意契約	10,480	3,930	契約の性質又は目的が競争入札に適しない為	人材育成セミナーの一環として科学ワークショップを開催するに当り、事故・ケガに備え加入したもの
ワークショップ賠償責任保険	随意契約	2,000	1,000		

以下の点検・保守業務については外部委託を行い、異常が発見された場合はその都度、修繕を実施した。

(単位：円)

業務名	選定方法	点検回数等	予算額	決算額	期間
自家用電気工作物保守	入札	年6回 (4月, 6月, 8月, 10月, 12月, 2月)	284,000	280,692	平成31年4月1日 ～令和6年3月31日
消防設備保守点検	随意契約	機器点検 年2回 (9月, 3月) 総合点検 年1回(9月)	146,740	146,740	平成31年4月1日 ～令和6年3月31日
冷暖房機器点検	入札	年2回 (7月, 1月)	594,000	594,000	平成31年4月1日 ～令和6年3月31日
換気設備点検	入札	年2回 (7月, 1月)	880,000	880,000	平成31年4月1日 ～令和6年3月31日

実験用排水モニターシステム点検	入札	年12回 通常+1年 点検(4月) 通常+分析点検 (5月, 8月, 11月, 2月) 通常点検 (6月, 7月, 9 月, 10月, 12 月, 1月, 3月)	825,000	825,000	平成31年4月1日 ~令和6年3月31日
自家用発電設備点検	入札	年2回 (5月, 11月)	250,800	250,800	平成31年4月1日 ~令和6年3月31日
作業環境測定	入札	年2回 (4月, 10月)	418,000	418,000	平成31年4月1日 ~令和6年3月31日
昇降機設備点検	随意契約	24H監視 (現場点検は年 4回(5月, 8月, 11月, 2月)	831,600	831,600	平成31年4月1日 ~令和6年3月31日
加圧給水ポンプ保守点検	随意契約	年1回 (9月)	55,000	55,000	平成31年4月1日 ~令和6年3月31日
シャッター設備点検	県委託	年1回			

- ・電気錠保守については、入退出管理装置のバッテリーの交換時期となり13個のうち5個を交換し、残りの8個については次年度での交換予定となった。
- ・施設内の動線について、建物の構造上におけるバリアフリーを配慮する見直しを行い、2F管理室と1F風除室にインターホンと、2F管理室から1F風除室のドアを開閉できるドア解錠ボタンを設置した。
- ・その他のPBX交換機・配線・電話機等の設備保守管理、警報監視装置保守、自動体外式除細動器、放送設備保守点検、トイレ呼出装置については異常なかった。

以下の保安警備業務については、外部委託を行った。

(単位：円)

業務名	選定方法	予算額	決算額	期間	随契理由
保安警備業務(防犯・火災)	入札	389,400	389,400	平成31年4月1日 ~令和6年3月31日	

以下の清掃等業務については、外部委託を行った。

(単位：円)

業務名	選定方法	予算額	契約単価	決算額	期間	随契理由
一般廃棄物収集・処理業務	随意契約	84,000	可燃物 処理 1kg 19 円運搬 800 円/回 不燃物 処理 1kg 17 円運搬 1,300 円/円	70,906	平成 26 年 4 月 1 日～	契約金額が 20 万円未満のため(1者見積)
清掃業務	入札	1,821,600	月額 149,040 円	1,821,600	平成 31 年 4 月 1 日～	
産業廃棄物収集・処理業務	随意契約	360,000	感染性廃棄物 200ℓペール缶 2,000 円 500ℓペール缶 4,500 円 450段ホール箱 2,500 円 非感染性 廃棄物 廃プラ 450ビニール袋 800 円 有機廃液 難燃性 200ℓポリ容器 1ℓ 100 円 有機廃液 可燃性 200ℓポリ容器 1ℓ 100 円 ハロゲン廃液 200ℓポリ容器 1ℓ 100 円	285,450	平成 31 年 4 月 1 日～	契約金額が 20 万円未満のため(1者見積)
白衣洗浄業務	随意契約	372,000	200/枚(ナイロン製) 250/枚(綿製)	297,000	平成 26 年 4 月 1 日～	契約金額が 20 万円未満のため(1者見積)

以下の情報発信、ホームページ等の保守管理については、制作業者に委託を行った。(単位：円)

業務名	選定方法	予算額	決算額	期間	随契理由
HP ホスティング	随契	103,400	103,400	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	HP の委託先である必要があるため(1者見積)
機器予約システムサーバー管理	随契	228,800	228,800	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	機器予約システムの委託先である必要があるため(1者見積)

e リース契約等について

業務で使用する物品や公用車のリース契約等を行った。

(単位：円)

リース物件	選定方法	予算額	決算額	リース期間	備考
PC 7台	随意 契約	252,720	252,720	平成31年4月1日 ～平成5年3月31日	リース
PC 1台	随意 契約	3,960	3,960	令和3年3月1日 ～令和6年3月31日	リース
ノートPC 1台	随意 契約	5,000	4,554	令和2年4月1日 ～令和3年4月1日	監視カメラシステム用 再リース
ノートPC 2台	随意 契約	61,380	61,380	令和2年7月1日 ～令和6年3月31日	リース
複写機	入札	75,240	75,240	令和2年4月1日 ～令和6年3月31日	リース
公用車	随意 契約	366,960	366,960	平成31年4月9日 ～令和6年4月8日	リース

f 動物実験管理について

動物飼育器材の準備業務を委託している株式会社エーテックならびに業務にかかる設備提供を受けている鳥取大学・動物実験施設との連絡調整を行い、利用者から出される飼育器材準備に関する突発的な要望に対しても極力対応し、円滑な実験実施を支援した。施設備品として保有しているものの日常的に稼働していない実験機器に関し、利用者から要望が出された際には、使用手順書を提示して適正な実験が行えるよう支援した。

g 化学物質の管理について

とっとりバイオフィロントピアの管理運営に関する協定書（以下「協定書」という。）に基づきとっとりバイオフィロントピア化学物質管規則（平成31年4月1日施行）を定め、実験、施設管理で必要となるキシレン、メタノールなどの薬品・有害物については、施錠してある倉庫内の薬品庫に保管し、使用時には受払簿に記載・確認し、厳重に管理した。

職場巡視・化学物質管理委員会の実施等、入居企業・開放実験室利用者への化学物質の取扱い及び実験環境の整備推進を行った。

h 実験機器の管理について

実験機器については、日常点検・定期点検を行い、不調等が確認された場合、設置業者またはメーカーによる修繕の対応を行った。

(対応状況)

日付	機器名	内容	対応結果	費用<税込 > (円)
4月9日	超純水・純水製造システム	修繕	昇圧ポンプ等の部品交換	216,700
4月19日	安全キャビネット(1Fホﾟﾝｸﾞ)	修繕	UVランプの部品交換(安定器の交換)	61,600
5月18日	倒立型生物顕微鏡(0421-02)	修繕	部品交換(フィラメントの交換)	8,800
5月28日	超低温フリーザC(311 実験室)	修繕	部品交換(ファンモーター、バッテリー)	62,920
6月15日	CO2 インキュベーター(0614-00)	修繕	部品交換(ファンモーター)	33,550
7月13日	染色体解析専用顕微鏡	年間保守点検	保守点検(年1回)	950,400
7月14日	共焦点顕微鏡	年間保守点検	保守点検(年2回)	4,195,422
7月19日	オートクレーブ(7台)	年間保守点検	保守点検(年1回)	385,000
7月19日	大型遠心分離機(2台)	年間保守点検	保守点検(年1回)	281,490
7月19日	スイング型冷却遠心機(2台)	年間保守点検	保守点検(年1回)	
7月19日	超遠心分離機	年間保守点検	保守点検(年1回)	
8月2日	セルアナライザ	年間保守点検	保守点検(年2回)	1,760,000
8月4日	風防付き電子天秤	スポット点検	年1回	32,450
8月20日	クリーンベンチ(0413-00)	修繕	付属品交換(アスピレーター)	156,200
9月15日	超低温フリーザC(314 実験室)	修繕	部品交換(バッテリー)	36,190
9月17日	オートクレーブ(1階ホﾟﾝｸﾞ)	修繕	部品交換(排気チューブ)	12,518
10月4日	クリーンベンチ(3台)	年間保守点検	保守点検(年1回)	495,000
10月4日	安全キャビネット(8台)	年間保守点検	保守点検(年1回)	
10月4日	ドラフトチャンバー(7台)	年間保守点検	保守点検(年1回)	385,000
10月4日	純水製造装置	年間保守点検	保守点検(年1回) 缶石除去	16,500
10月4日	CO2 インキュベーター(10台)	年間保守点検	保守点検(年1回) 温度・CO2 濃度測定	165,000
10月7日	クリーンベンチ(0411-00)	修繕	UVランプの部品交換(安定器の交換)	61,600
10月20日	酸素濃度計(ガス警報器)	スポット点検	年1回	140,800
11月5日	感染防止対策用クリオスタット	スポット点検	年1回	113,300
11月24日	恒温恒湿飼育装置	修繕	加湿器修理作業(部品交換・分解清掃・試運転調整)	88,000
12月9日	超低温フリーザ-B(0418-09)	修繕	部品交換(バッテリー)	28,380
1月13日	CO2 インキュベーター(1002-00)	修繕	部品交換(ファンモーター)	34,650
2月1日	感染防止対策用クリオスタット	修繕	修繕 故障箇所調査・調整等	495,000
3月14日	酸素濃度計設置(3F 実験室4台)	新設		499,400
3月14日	恒温恒湿飼育装置	スポット点検	年1回	1,490,500

i 施設修繕について

とっとりバイオフィロンティア開設から10年を過ぎ、施設設備各所の修繕も目立った。不調等が確認された場合、設置業者による対応を行った。

(対応状況)

日付	修繕箇所 (内容)	費用<税込> (円)
5月25日	非常用予備発電設備(蓄電池交換)	220,000
6月21日 6月23日	換気設備の修繕 ロスファンモーター取替<1F オープンホブ(左側・中央)2F 細胞実験室> 換気扇取替<2F 遺伝子実験室・3F 312 実験室	471,680
8月4日	分岐水栓の移設(2階から3階へ移設)	6,600
10月15日	換気設備の修繕 換気扇取替<3F 311 実験室・3F 314 実験室>	57,200
12月15日	1F 風除室床修繕(床Pタイル貼り替え)	12,100
1月12日	2F 渡り廊下照明 人感センサー取付	86,900
1月20日	館内案内板修正	253,000
1月25日	外壁破損箇所調査	28,600
2月1日	2F 管理室・1F 風除室 ドア解除ボタン設置	165,000
2月1日	2F 管理室・1F 風除室 インターフォン設置	82,500
2月2日	入退出管理装置のバッテリー交換(5個)	77,000

j 事故・事件の防止措置と緊急時の対応等について

施設管理に当たっては、火元責任者を定め、日頃から火災、事故等を防止するため職員の巡回により施設内の安全確認を行っている。また、災害時緊急時においては、施設内および実験動物の緊急時対応マニュアルに沿って、利用者の避難、誘導、安全確保、必要な通報等についての的確な対応をすることとしている。

k 施設環境・実験環境向上への取り組み

- ・協定書別記1-第2-4に基づき飲料水の自動販売機を設置。(平成23年8月設置)

設置台数：1台

設置場所：とっとりバイオフィロンティア1階

手数料額：88,010円(取扱手数料率：販売価格の20.9%)

1 職員の資質向上に向けた研修等の実施について

Web 配信による日本バイオインダストリー協会（JBA）、（公財）木原記念横浜生命科学振興会のバイオベンチャーアライアンス（BVA）、日経バイオテック（機構が会員であり定期購読中）等が主催するセミナー等に積極的に参加し、技術に対する最新情報の収集、参加者とのネットワーク構築に努めるとともに職員の資質向上に努めた。

○PR活動等

a とっとりバイオフィロントニア開設から 10 周年にあたり周年事業を開催した。

日時：令和 3 年 10 月 24 日（日）14：00～16：00

会場：ANA クラウンプラザホテル米子

内容：記念講演・記念式典・識者と高校生とのパネルディスカッション

①バイオフィロントニア 10 周年記念誌の発刊

②You Tube のライブ配信、アーカイブの配信

③中海テレビで番組放映

④日本海新聞でのとっとりバイオフィロントニア特集記事

⑤鳥取県内関係機関および全高校に案内状、ポスター、チラシを配布

⑥とっとり県政だより、米子市報で開催情報掲載

b 展示会出展にてとっとりバイオフィロントニアブースの設置を行った。

①「BioJapan2021」共同出展 入居企業 2 社

②「ファーマラボ EXPO 大阪」共同出展 入居企業 1 社 県内企業 6 社（ポスター展示）

c 「とっとり県民の日フェア」でとっとりバイオフィロントニアのパネル展示を行った。

d 県立高校図書館での巡回展示「鳥取県新商品展示」でとっとりバイオフィロントニアの紹介パネル等を展示した。

e 高校生向けのワークショップを開催した。

①「DNA でアユを探そう」

②「DNA でコシヒカリ鑑定」（新聞報道 2 社あり）

f 鳥取大学内の鳥取ベーシックリサーチフォーラムで、大学、病院などの先生へ向け PR を行った。

g 商工会議所会報（R4 年 2 月）に人材セミナー・施設利用を掲載した広告を配布した。

h ホームページを利用し、施設の目的・概要、利用料金、人材セミナーのお知らせ等幅広い情報を提供した。

媒体	費用等	概要
ホームページ (コンテンツ改修)	143,000 円 (税込)	TBF 沿革、ワークショップ情報閲覧等のページを作成

i 新聞報道等 (とっとりバイオフィロンティア名の記載がある記事のみ) 6 件

新聞・雑誌等	日付	概要
日本海新聞	10 月 23 日	とっとりバイオフィロンティア開設 10 周年 バイオ産業集積の拠点
日本海新聞	10 月 25 日	「とっとりバイオフィロンティア」開設 10 周年 無人の遠隔診療施設を 将来の医療、高校生らパネル討議
日本海新聞	11 月 27 日	変化の先に描く未来 医学とまちづくりの融合 鳥取大学医学部創立 75 周年記念対談
日本海新聞	12 月 9 日	コメ DNA 解析体験学習に挑戦 湯梨浜学園高生
山陰中央新報	12 月 9 日	最先端研究を体感 PCR 機器を用いたコメの DNA 解析に挑戦する 湯梨浜学園の高校生
日本海新聞	1 月 28 日	<潮流> 鳥取大発 未来への挑戦⑥ 香月康宏准教授 米子を創薬イノベーション拠点へ

j 企業訪問 (Web も含む) 往訪 29 件 来訪 17 件 全 46 件

k 視察対応 8 件 視察者総数 27 名

l 専門家活用 28 件 (人材育成、入居審査会、事業運営委員会等)

m とっとりバイオフィロンティアの開放機器利用に対する謝辞掲載論文・雑誌等 4 件

	著者	タイトル	雑誌名等
1	Taiji Miyake, et al	Predicting quantitatively P-glycoprotein mediated drug-drug interactions and intestinal absorption using humanized mice	British Journal of Pharmacology 2021 Jul 7. doi: 10.1111/bph.15612
2	Takahito Ohira, et al	PITX1 inhibits the growth and proliferation of melanoma cells through regulation of SOX family genes	Scientific Reports 2021 11:18405
3	Takuya Ikenari, et al	Improvement in Double Staining With Fluoro-Jade C and Fluorescent Immunostaining: FJC Staining Is Not Specific to Degenerating Mature Neurons	Journal of Histochemistry & Cytochemistry 2021 Sep;69(9):597-610
4	Yasuhiro Kazuki, et al	A transchromosomal rat model with human chromosome 21 shows robust Down syndrome features	The American Journal of Human Genetics 2022 Feb;109:1-17

○利用者支援の実施

- a バイオ分野の動向（JBA 創薬モダリティ基盤研究会等）やニーズを調査し、入居企業の事業推進に直接あるいは参考となる役立つ情報を適宜フィードバックし、事業支援を行った。
- b 入居企業の受託試験に関連し、機器の保守管理に関する標準作業手順書（SOP）の整備を行うと共に、企業から要望があった資料の提供に努めた。
- c モデル動物の海外展開のための品質管理に関する微生物管理状況を英語バージョンで提供した。
- d 入居企業と米子高専・大学等との染色体関連技術の共同研究を進めるため、起業化促進事業助成金への申請支援を行った。モデル動物や間葉系幹細胞関連で2件の採択があった。
- e 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、すべて Web 会議システムによるセミナーに変更した。ニーズに即したテーマ、講師を選定し、抗体医薬、ワクチン、ウイルスなどトピック的な話題を盛り込んだ利用者に役立つセミナー開催に努めた。録画は一定期間限定公開し、当日視聴できない受講者にも対応した。

セミナー開催 19 講座(内、1 講座は機器セミナー) 受講者数 618 名 (録画視聴含む)

(バイオ人材育成実施講座)

	開催名	実施日	受講者数	概要
1	抗体医薬の開発に適う創薬ターゲット探索法と開発候補抗体の創出	4月30日	17	抗体産生動物に対する抗原の免疫法を微調整することによって、抗原分子内のエピトープが散在するような抗体ライブラリーを構築する新規技術の開発と、機能性抗体取得の実績について詳細に解説。
2	腸内細菌基礎セミナー 腸内細菌叢と健康①	5月20日	45	腸内に存在する腸内細菌叢について初学者向けの入門講座（全3回シリーズ）。
3	オンラインでも伝わるプレゼンテーション講座～ オンラインの良さを活かし、使いこなすために！～	5月31日	41	昨今メジャーとなったオンライン発表でもバイオ関連の内容をより良く相手に伝えるにはどのようにしたらいいか、発表スライドの作成および発表のコツを学ぶ。
4	オールインワン顕微鏡取扱説明会	6月10日	13	R3年3月に新規設置した「オールインワン顕微鏡」について、メーカーによる使用方法の説明。
5	腸内細菌基礎セミナー 腸内細菌叢と健康②	6月17日	36	腸内に存在する腸内細菌叢について初学者向けの入門講座（全3回のうち2回目）。

6	生命の第三の鎖「糖鎖」 ～化学合成と機能解明～	6月28日	29	糖鎖は、生体を制御する重要な機能性分子である。糖鎖構造と機能との関係を合成化学と分析化学の視点から解説。
7	腸内細菌基礎セミナー 腸内細菌叢と健康③	7月8日	36	腸内に存在する腸内細菌叢について初学者向けの入門講座（全3回のうち3回目）。
8	科学ワークショップ 「DNA でアユを探そう」	8月11日	3	バイオ実習等を通じて、探究学習に必要な「自ら発想する力」を育成し、バイオ系の進路や起業に興味を持ってもらうことで、将来的なバイオ人材獲得へ繋げる。
9	レトロウイルスによる哺乳類の進化	8月25日	59	レトロウイルスは哺乳類の進化に関わるウイルスであり、最新のウイルス学から最新情報を収集する。
10	多重抗原ペプチドを用いた汎コロナウイルスワクチンの開発	8月26日	44	解明されている動物における高病原性コロナウイルス感染を例示しながら、化学合成した多重抗原ペプチドが刺激する免疫反応を解説。
11	性スペクトラムから見る骨格筋の性	9月8日	21	性を二項対立としてみるのではなく、連続的に変化するものとしてとらえる「性スペクトラム」の観点から、骨格筋の性差を議論。
12	生物工学講座	9月25日 ～26日	10	バイオ産業の基盤となる生物工学について、生産現場での実践的な技術について詳しく解説。
13	免疫細胞の性差から考えるアレルギー疾患重症化機序	9月28日	22	心血管や自己免疫疾患、アレルギー疾患など、性は有病率や重症度とも関連する。気管支喘息についての性依存的機能変化について概説。
14	次世代バイオ創薬に向けた抗体工学	11月24日	26	抗体工学技術の概要を説明するとともに、次世代抗体医薬として注目される二重特異性抗体の作製技術を中心に講師の研究成果を交えながら紹介。

15	湯梨浜学園高校 とっとりバイオフロンティア見学と体験学習「PCR 機器を利用したコメの DNA 解析」	12 月 8 日	6	創薬等のバイオ産業化を目指した研究開発拠点を訪問し、先端機器を活用した研究開発の現場に接することで、バイオ技術の実際について具体的なイメージをつかむ。染色体工学の入り口となる簡易な実習を体験することにより、バイオ分野の研究に対して親しみを持てるよう、機会を設ける。
16	ヒト免疫研究の重要性と今後の展望	2 月 24 日	49	ヒト・マウスの免疫反応の様々なレベルでの違い、ヒト免疫研究における新しい解析技術を紹介するとともに、ヒト免疫学の重要性を紹介。
17	CAR-T 細胞療法開発の最前線 ①	3 月 2 日	74	がんに対する免疫療法の一つである CAR-T 細胞療法について、基礎から臨床応用、また、その限界や今後の展開について幅広く包括する講座（全 3 回シリーズ）。
18	同 ②	3 月 9 日	51	
19	同 ③	3 月 16 日	36	

○利用者からの要望・意見

利用者の要望、意見については入居者ヒアリングや日々の利用者とのコミュニケーション等で把握し、要望への対応、課題の解消に努めた。

(主な意見)

要望者	内容	対応
施設入居者	取引製薬メーカーから分析データの品質管理を求められている。データの信頼性維持のため、古くなっている機器の更新をして欲しい。	令和 3 年度に県と協議を行い、機器 9 種類の更新予算を獲得。令和 4 年度に更新機器を導入予定。
〃	製薬メーカーとの新規取引、取引の継続に会社の品質管理を求められことが頻繁になっている。バイオフロンティアも協力して欲しい。	標準作業書 (SOP) の作成並びに継続的な更新を行っている。入居者の要望に合わせて、SOP、管理状況の提供を行った。
〃	動物飼育室の温湿度の安定的な運営を行って欲しい。	温度不安定の要因であった冷却水配管の清掃を令和 3 年度から年一回実施し温湿度の安定性を確保。また、令和 2 年に設置した温湿度センサーの保守点検を年一回実施。
〃	細胞品質管理・安全性確保についての図書がほしい	希望の図書を購入し、入居企業への貸し出しを行った。

〃	3階実験室内に酸素濃度計を設置してほしい。	3階実験室の入居企業にアンケートを実施し、全社設置要望ということだったので、令和3年度4部屋すべてに酸素濃度計を設置した。
施設利用者	プレートリーダーEnSightについて、同じ実験台に設置されている遠心機の振動がデータに影響してしまう。移設してほしい。	設置場所の移動を行い、振動が少ない場所での分析ができる環境を整えた。
〃	施設の概要・趣旨を理解してもらうためにも、もっと広報してほしいか。	鳥取県がバイオ産業に関する企業支援をするための施設であることを鳥大等、様々な場所へ向けて広報を行った。

(2) 管理施設の利用に係る料金の収入および減免の状況

管理施設の利用に係る料金の収入および減免の状況

○利用料金等の収入の状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
利用料金収入	1,502,924	1,242,605	1,377,991	1,302,972	1,423,325	1,464,470	1,509,424	1,473,563	1,433,318	1,404,177	1,385,616	1,353,812	16,874,197
実験室	220,800	220,800	220,800	220,800	220,800	220,800	220,800	220,800	220,800	220,800	220,800	220,800	2,649,600
居室	117,740	117,740	117,740	117,740	117,740	117,740	117,740	117,740	117,740	117,740	117,740	117,740	1,412,880
動物飼育室	61,040	61,040	61,040	61,040	61,040	61,040	61,040	61,040	61,040	61,040	61,040	61,040	732,480
オープンラボ	310,300	310,300	310,300	310,300	310,300	310,300	310,300	310,300	310,300	310,300	310,300	310,300	3,723,600
研修室	1,348	1,788	12,996	5,004	9,962	5,094	6,422	3,870	11,040	3,180	204	0	60,908
開放機器	271,180	279,514	280,910	255,870	295,740	288,080	304,260	322,270	306,630	329,200	271,230	274,940	3,479,824
光熱費(鳥大は先々月分)	391,956	156,143	272,805	244,418	302,023	360,616	383,422	314,783	292,368	257,277	288,782	255,152	3,519,745
動物飼育ケージ管理料(3F)	128,560	95,280	101,400	87,800	105,720	100,800	105,440	122,760	113,400	104,640	115,520	113,840	1,295,160
その他の収入(自販機+預金利息+カードキ-再発行)		6,964	4,672	10,124	9,203	7,061	11,598	7,912	3,885	10,272	4,957	7,087	83,735
未収金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
機器未収金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
居室等未収金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他未収金(光熱費)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

○利用料金の減免の状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数													
第30条第1項(地方公共団体の職員)													0
第30条第2項(商工団体の講習会等)													0
第30条第3項(離職者の創業目的)													0
第30条第4項(入居利用者の利用)	5	6	5	8	8	7	2	8	4	1	0	0	54
金額													
第30条第1項(地方公共団体の職員)													0
第30条第2項(商工団体の講習会等)													0
第30条第3項(離職者の創業目的)													0
第30条第4項(入居利用者の利用)	1,512	2,394	1,764	1,638	1,386	1,260	630	2,268	1,260	126	0	0	14,238

(3) 委託業務に係る経費の収支状況

収入

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差額	備考
利用料金収入	8,518,560	8,518,560	0	賃貸料収入
機器利用料収入	3,310,380	3,540,732	△230,352	機器+研修室利用料
施設利用料収入	4,865,052	4,803,569	61,483	光熱費+3Fケージ管理料
その他収入	802,068	319,010	483,058	自販機+雑収入
委託料収入	88,503,000	88,503,000	0	
合計	105,999,060	105,684,871	314,189	

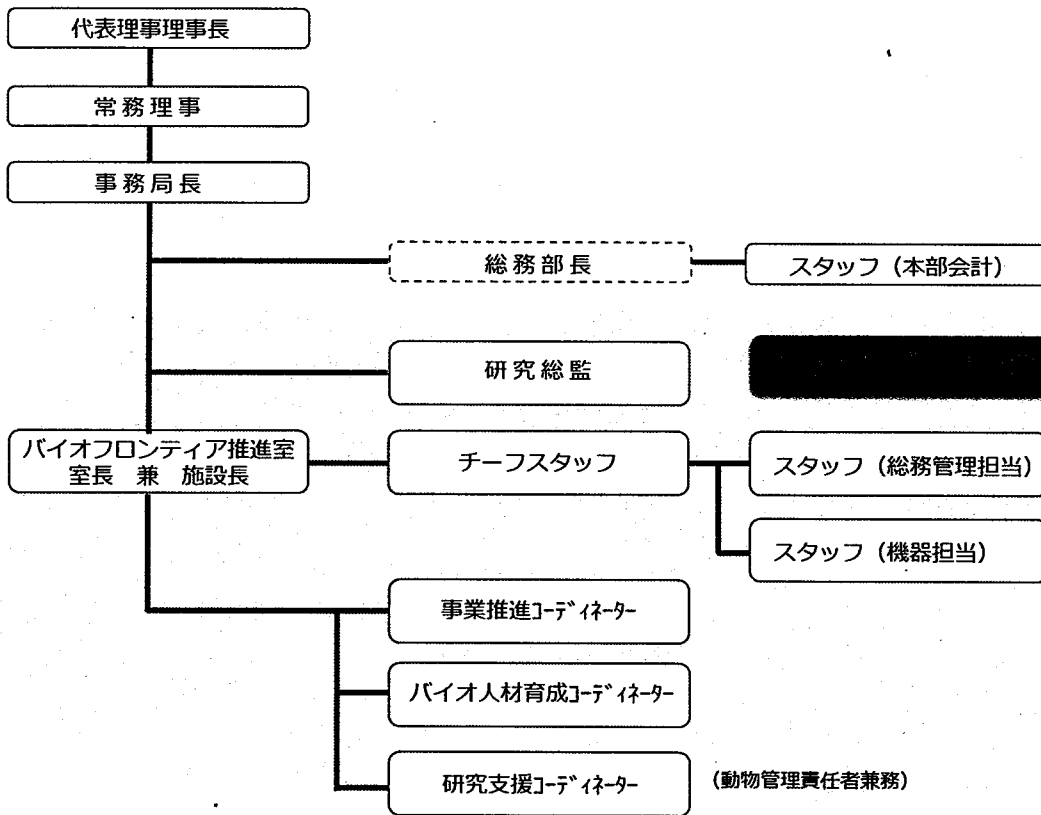
支出

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差額	備考
人件費	30,998,652	28,834,061	2,164,591	
管理運営費	75,000,408	53,177,351	21,823,057	
委託費	31,884,612	26,381,912	5,502,700	
旅費交通費	550,360	7,453	542,907	
通信運搬費	590,840	508,039	82,801	
消耗品費	8,414,120	4,824,982	3,589,138	
消耗什器備品費	777,000	776,600	400	
食糧費	127,500	0	127,500	
修繕費	7,022,410	3,550,545	3,471,865	
印刷製本費	885,000	806,300	78,700	
広告宣伝費	3,462,500	1,042,673	2,419,827	
燃料費	75,600	4,180	71,420	
光熱水費	7,068,000	7,057,163	10,837	
賃借料	8,079,760	3,287,717	4,792,043	
保険料	517,000	508,600	8,400	
諸謝金	1,335,600	829,257	506,343	
租税公課	3,086,426	2,895,894	190,532	
負担金	777,000	644,956	132,044	
支払手数料	46,680	9,680	37,000	
研修費	300,000	41,400	258,600	
雑支出	0	0	0	
什器備品費	0	0	0	
合計	105,999,060	82,011,412	23,987,648	

※収入に対する支出の余剰金は県に返納 (105,684,871-82,011,412=23,673,459円)

(4) 管理体制の状況 (令和4年3月31日時点)



(5) 管理施設の職員に係る雇用条件及び労働状況 (令和4年3月31日時点)
(別表1) のとおり

(6) 障がい者就労及びシルバー人材センター等からの物品、役務の調達実績

米子広域シルバー人材センターに植栽管理業務を依頼し整備を行った。

障がい者就労施設及びシルバー人材センター等からの物品、役務の調達実績

調達時期	調達物品名称	調達先の名称	調達数量	調達金 (円)	備考
令和3年 10月20日	植栽樹の剪定 および枝木処分	とっとりバイオフィロンティア	1式	62,000	

(別表1) 管理施設の職員に係る雇用条件及び労働状況 (令和4年3月31日時点)

労働条件等報告書

項目	条件等	備考
1 職種	無期雇用職員2名(無期A1名、無期B1名) 任期付職員 6名(任期A1名、任期B3名、任期C1名 任期D1名)	
2 契約期間	無	
3 就業の場所	とっとりバイオフロンティア	
4 労働条件の 提示書面	公益財団法人鳥取県産業振興機構 無期雇用職員就業規則 " 任期付き職員及び非常勤職員就業規則 雇用契約書	
5 始業・終業 時刻、休憩時間等	(1) 始業 8時30分 終業17時15分 (2) 休憩時間 60分(正午~13時) (3) 所定労働時間を超える労働の有無 有 (4) 労働時間に係る協定 有 「時間外労働及び休日労働に関する労使協定」	
6 休日	毎週土曜日・日曜日 国民の祝日及び年末年始(12/29~1/3)	
7 休暇	(1) 年次有給休暇 20日 (2) その他の休暇 有給: 夏季特別休暇 3日、母性健康管理休暇 無給: 産前産後休暇、育児・介護休暇	
8 賃金	(1) 賃金 無期雇用職員A 月額 230,000円 無期雇用職員B 月額 222,000円 任期付職員A 月額 332,200円 任期付職員B 月額 302,000円 任期付職員C 月額 218,300円 任期付職員D 月額 175,400円 (2) 諸手当の額及び計算方法 公益財団法人鳥取県産業振興機構 任期付職員及び 非常勤職員の給与に関する規程による(無期雇用 職員も同規程を準用) (3) 割増賃金 ・所定労働時間外 月60時間以内 25%(22時以降50%) 月60時間越 50%(22時以降75%) ・休日 35% (4) 賃金締切日 月末日 (5) 賃金支払日 毎月21日 (6) 賞与 無 (7) 昇給 無 (8) 平均給与月額 無期雇用職員A 235,153円 無期雇用職員B 228,000円 任期付職員A 332,543円 任期付職員B 304,700円 任期付職員C 174,836円 任期付職員D 176,978円	
9 退職金	無	
10 健康診断	健康診断を毎年1回行う	
11 その他	8欄の「平均給与月額」は、給料月額と諸手当(通勤手当・時 間外勤務手当)を合計したものの平均月額である。	